

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名    |        | さわやか愛の家かんだ館  |     |         |   | 公表日                 | 2026年 3月 1日 |
|---------|--------|--|-----|---------|---|---------------------|-------------|
|         | チェック項目 | はい   | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点   |                     |             |
| 環境・体制整備 | 1      | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。   | 5   |         | 部屋が3部屋ある<br>利用定数がスペースと適切である<br>運動療育の点ではスペースが狭く感じる                 |                     |             |
|         | 2      | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。   | 5   |         | 運転免許取得者がもう1名いると助かる<br>児童がいる場所に職員が配置されてある<br>どの部屋にも一人は必ず対応できる人数である |                     |             |
|         | 3      | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。  | 5   |         | 勉強部屋プレールーム用途に分け使用できる<br>ホワイトボードが目につく所にあり良い                        |                     |             |
|         | 4      | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。  | 5   |         | 勉強部屋では集中力を高める為、パーティションで区切る事を行っている<br>日々の清掃にて清潔に保たれている             |                     |             |
|         | 5      | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。   | 5   |         | 一人で勉強できるスペースがある   |                     |             |
| 業務改善    | 6      | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。   | 5   |         | 毎日話し合い振り返りを行い、その日の目標を決めている<br>活動計画書を作成し目標を立て振り返りを行っている            |                     |             |
|         | 7      | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 5   |         | 保護者からの意見に耳を傾け改善点を全員で共有している  |                     |             |
|         | 8      | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 5   |         | 児童の様子について気になる様子はこまめに共有し意見を出して対応について検討している                         |                     |             |
|         | 9      | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   |     | 5       |   | 第三者による外部評価を行なってはいない |             |
|         | 10     | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | 5   |         | 毎月スキルアップ研修が行われており、様々な分野での知識を更新できる機会が多い                            |                     |             |
| 適切な支援の提 | 11     | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | 5   |         | どちらも適切に行われている   |                     |             |
|         | 12     | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。   | 5   |         | 丁寧なアセスメントが行われており、その児童や保護者のニーズに合わせたものが作成されている                      |                     |             |
|         | 13     | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | 5   |         | 児童の様子について日頃から共有している点も含め検討が行われている                                  |                     |             |
|         | 14     | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 5   |         | 職員間で共有し計画に沿った支援が行われて計画に基づいた支援・対応ができています                           |                     |             |
|         | 15     | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | 5   |         | 初回時、発達検査の結果を提出して頂く家庭もあれば、無い家庭もある、子どもによって違いがある状況に応じて柔軟に対応できている     |                     |             |
|         | 16     | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 5   |         | 適切に行われている   |                     |             |
|         | 17     | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 5   |         | 職員間で意見を出し合い全体で立案出来る様になっている  |                     |             |
|         | 18     | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 5   |         | 職員同士で話し合い担当を決めているので個々それぞれの考え想いで計画している<br>固定化されない様に行っている           |                     |             |

|              |  |  |   |                                      |  |                                  |
|--------------|--|--|---|--------------------------------------|--|----------------------------------|
| 供            | 19   | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                           | 5 |                                      | 発達個人差があるのでそれに基付きおこなっている<br>集団活動が難しい児童には別のやり方で対応している                  |                                  |
|              | 20   | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                    | 5 |                                      | 活動計画書を基に、流れやねらい、役割の分担を確認できる  |                                  |
|              | 21   | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                             | 5 |                                      | 時間の無い時は翌日に行う形になるが、振り返り・改善点の共有は行っている                                  |                                  |
|              | 22   | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | 5 |                                      | より良い支援を行うため、様々な角度からのアプローチを行っている<br>日々の支援内容や児童の様子について記録を行い改善している      |                                  |
|              | 23   | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                              | 5 |                                      | 相談支援事業所の担当の方と面談連絡をとりあい、いろんな角度から評価している                                |                                  |
|              | 24   | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。                                       | 5 |                                      | 活動内容が特定分野に偏らない様に支援を行っている   |                                  |
|              | 25   | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。                                | 5 |                                      | 集団活動の無い日は、文字カードを使用し宿題、おやつ、あそび何から始めるか順番を決めさせている                       |                                  |
|              | 26   | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                           | 5 |                                      | 子どもの状況について日々共有している為、全職員が共有出来ていると感じる                                  |                                  |
|              | 27   | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                         | 5 |                                      | 整えている  |                                  |
| 関係機関や保護者との連携 | 28   | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。            | 5 |                                      | アプリ（スクリレ、すぐる）を活用し連携を取っている  |                                  |
|              | 29   | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                           | 5 |                                      | 以前は就学する際、児童の情報が少なすぎて状況を確認して支援に繋がった<br>相談支援事業所の担当者経由にて情報共有、相互理解に努めている |                                  |
|              | 30   | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                   | 3 | 2                                    | 相談支援事業所の担当者を通し伝えていた<br>昨今対象児童がいない                                    | 障害福祉サービス事業所からその後の様子を聞き共有出来る様に務める |
|              | 31   | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                            | 5 |                                      |  | 外部講師による社内研修を開催して頂いているが事業所での開催である |
|              | 32   | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。   | 5 |                                      |  | 他の事業所との連絡会等はあるが、児童との交流会は行われていない  |
|              | 33   | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。  | 5 |                                      |  | 他の事業所との連絡会等に参加させて頂いている           |
|              | 34   | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                   | 5 |                                      | 送迎時、体調や過ごし方気が付いた点等を伝え、家庭での様子も伺っている<br>高騰や連絡帳にて状況の共有を行う事が出来ている        |                                  |
|              | 35   | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。       | 2 | 3                                    | 保護者、相談員さんからの要望がない為、そういった機会があまりない                                     | 保護者様からの相談が無いため現状では行っていない         |
|              | 36   | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 5 |                                      | 行なっている   |                                  |
|              | 37   | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5 |                                      | 送迎時確認している  |                                  |
| 38           | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 5  |   | 説明を行い同意を得ている                         |  |                                  |
| 39           | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。              | 5  |   | 学校での様子や家庭での様子、保護者が抱えている悩みを聞き解決策を考えいる |  |                                  |

|          |    |  |   |   |  |                                     |
|----------|----|--|---|---|--|-------------------------------------|
| 保護者への説明等 | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機械を設ける等の支援をしているか。 |   | 5 | 土曜日営業していない<br>長期休みがあるが働いている保護者が多い  | 計画を立て行って行く                          |
|          | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                     | 5 |   | 連絡をしたり連絡帳に記入したり迅速な対応を行っている   |                                     |
|          | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                 | 5 |   | LINEやインスタグラムを活用し日々の活動状況、活動で必要なものを準備して頂きたい時等発進している、不定期ではあるが「かんだ館だより」を発行している |                                     |
|          | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 5 |   | 様々な面でチェックを行い外部には漏れないよう心掛けている   |                                     |
|          | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 5 |   | 日々の連絡帳やlineなどで必要に応じて行っている  |                                     |
| 非常時等の対応  | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  |   | 5 |  | 自治会への報告は行っているが地域住民を招待するなどの運営は行っていない |
|          | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。          | 5 |   | 定期的に訓練・研修が行われており、日頃からいざと言うときに備える意識がある                                      |                                     |
|          | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                | 5 |   | 研修・訓練を定期的に行い食料や飲料水の備蓄を行い、非常災害に備えている、定期的に避難訓練も行っている                         |                                     |
|          | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。  | 5 |   | 服薬の状況でてんかんの状況を保護者に確認し支援に繋げている  |                                     |
|          | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | 5 |   | 保護者にも確認し直近の状態を聞いている<br>現状では食物アレルギーの児童はいない                                  |                                     |
|          | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                             | 5 |   | 安全計画に基づき研修・訓練を行い安全管理に向けた体制作りを行っている   |                                     |
|          | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                | 5 |   | 保護者への周知を行っている  |                                     |
|          | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | 5 |   | 定期的に確認し、日頃から意識してヒヤリが起きない様に対応・支援をしている                                       |                                     |
|          | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 5 |   | スキルアップ研修や他の研修に参加させて頂き日々意識を高めている  |                                     |
|          | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。         | 5 |   | 事前に保護者に説明し了解を得た上で取り組み記録している<br>現状拘束の必要性を感じる児童がいない                          |                                     |